

令和4年度 第3回学校運営協議会（記録）

日 時 令和5年2月20日(月) 午後2時～午後4時

場 所 大阪府立堺上高等学校 校長室

出席者 【委員】 会 長：比嘉 悟 桃山学院教育大学副学長
副会長：井関 雅 堺市立上野芝中学校校長
委 員：阪本 拓也 堺市立福泉上小学校校長
委 員：岡田 浩治 大崎工業株式会社総務部長
委 員：中尾 友彦 中尾食品工業株式会社代表取締役社長
委 員：岩本 吉伸 堺上高等学校PTA会長
【事務局】 校 長：中川 明子
教 頭：大窪 成人
事務長：中田 博之
首 席：澤山 紀子 (生徒会部長)
首 席：藤田 祥弘 (1年学年主任)
教 諭：瀬角 明宏 (教務部長)
教 諭：菅 直美 (進路部長)
教 諭：北野 謙悟 (生徒指導部長)
教 諭：平井 栄一 (総務部長)
教 諭：徳庄 正幸 (保健部長)
教 諭：利光 はるみ (教育情報部長)
教 諭：小田原 剛 (2年学年主任)
教 諭：北 晃 (3年学年主任)

内容

1 開会の挨拶【校長】

本年度は学校行事につきましてもほとんど予定通りに行うことができました。今日は学校教育自己診断の結果を踏まえて、委員の方々から忌憚のないご意見をいただいて次年度の経営計画の策定につなげていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

2 報告

(1) 第2回授業アンケート及び学校教育自己診断の結果について【校長】

①第2回の授業アンケートについて、ここ数年、平均点は上昇傾向にあります。各教員の改善のためのフィードバックとして実施しています。先生方もICT機器の導入によく取り組んでくれて、生徒たちも前向きな回答をしてくれています。

②学校教育自己診断は昨年からweb回答にしています。「わかりやすく楽しい」という項目が注目している指標です。基本的には生徒の6割以上が前向きな回答をしています。これまで実施できなかった行事も多くありましたが、令和4年では3学年そろって体育大会もできました。保護者と教員に関しては、肯定的な意見が増えてきました。保護者の方には学校行事を通じて、学校の取り組みを分かっていたきてきたと前向きにとらえています。全体的には課題もありますので、引き続き対処していきたいと思います。

(2) 令和4年度学校評価について【校長】

1. 確かな学力の定着

組織的な授業改善に関しては、この2年間授業研究委員会を立ち上げて、研究授業をしながら同僚性を活かした授業改善に取り組むという文化が育まれています。教員の指標は、他の教科の担当者と授業について話し合う機会があるというのも肯定的評価がずいぶん上がりました。今後もこの方向性で取り組んでいきたいと思っています。

2. 多様な進路の実現

今年は特に一般入試まで頑張る生徒が増えました。公務員試験も千葉県警、警視庁、自衛隊など複数名が合格し結果を残すことができました。2年生の時から公務員対策講座を受けてきた生徒

で、よく健闘したと思っています。令和4年度の新規項目で図書館の活用を推進するということを新しく入れました。学校教育自己診断で著しく数字の低かったところです。新聞も複数紙取りなさいという国からの指示もあって指標に入れました。まずは授業でも使おうということで、探究の時間を中心に活用していただきました。

3. 社会に貢献する人材の育成

①社会に出るには時間感覚は必要だということで、本校では遅刻指導に力を入れています。減少傾向にありますが、このままいけたらいいなと思っています。また、負傷した事故が3件あります。小さいものはもっとあります。警察とも連携取りながら、事故防止には力を入れていきたいと思っています。

②個々の生徒の支援体制について、本校には色々な特性を抱えた子どもたちが多く入学してきます。個別の指導を行う必要がありますし、学校がそのような生徒と外部機関とを繋ぐ役割を担うようになってきています。来年も力を入れてやります。組織的にコーディネーターをきちんとたてて、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーにつなぎ、個別の支援計画を作成し、対応しやすいように組織的に動いています。

③行事関係は予定通りほぼできていて、本当によかったと思っています。来年はさらに充実できたらいいと思っています。

④部活動について、今年の1年生は加入率54.7%ということで目標を達成することができました。毎年1年生が50%入部してくれたら、本校もますます充実すると思っています。

⑤地域との連携では、部活動で年に一度地域でボランティアを行いたいと思っていますが、この春はダンス部が4年ぶりに桜まつりに出演予定となっております。これをきっかけにまた地域の方ともつながりを持ちたいと思っています。

4. 業務の効率化

業務の効率化と教員の育成では、働き方改革を進めるための会議資料のペーパーレス化の定着は済みました。子どもたちの欠席連絡にメールを活用し、当初予定していたことができてきています。ただ時間外勤務時間、月80時間超える教員が延べ30となっております。来年は週1回の定時退勤を徹底してやる予定で、出来ることからやりたいと思っています。教員向けの研修では、教員がとてもし研修を企画してくれています。生徒理解と支援、貧困問題など随分と認識を深めることができたと思っています。

5. 広報活動

ホームページのアクセス数が減っています。これは令和2年が非常に多く、8万でした。当初はメールでの発信も少なく、学校のホームページを見る機会も多くありました。その後、chromebookの活用が始まり、メールやクラスルームなどのGoogleのツールが整ったこともあり、ホームページを見なくても済むようになりました。今後は対象者を絞って、広報の仕方を考えて行きます。

(3) 令和5年度学校経営計画基本方針(案)について【校長】

①スクール・ポリシーを反映するのは来年度になります。今年度は、中期的目標の5本柱はこのままいきたいと思っています。授業も工夫し、分かって楽しいがなないといけないと思いますので、このままいきたいと思っています。

②進路未決定は今年少し増えましたが、丁寧に支援していきたいと思います。本校に入学した生徒で入学の時から進路が決まっている生徒は多くありません。迷っている生徒もいますので、丁寧に伴走者として寄り添っていききたいと思います。と言いつつも高みを目指して頑張る生徒も応援していきます。

③生活の規律しっかりと押さえ、規範意識も育てながら支援体制を強化するところや部活動を充実させるというところはそのまま継続していきたいと思います。

④働き方改革についてはそのまま進めていきます。本校には若い先生たちが非常に多いので、首席2人を中心に初任の先生から3年目の先生たちを集めて各学期に1回くらいSKミーティングをやってくれています。これが好評で、このまま継続していきたいと思っています。広報活動やPTA活動も本校の先生たちにも参加してもらいたいと思っています。

（４）３年生の様子【教頭】

この学年はコロナの始まりと重なって始まった学年です。無事全てを終えることができ、今週末の卒業式を待つばかりです。２４２名で始まった学年だが、今現在２０９名です。みんなが安心して安全な学校生活を送ることができることを柱に、日頃から授業を大切にすることをモットーにやってきました。先生方の協力のおかげで、３年間を通じてどのクラスも落ち着いた学級経営がなされ、生徒は概ね穏やかに最後まで過ごしていたのではないかと考えています。進路についてはここ数年合格の出ていない摂南大学、大阪経済大学などに一般入試で合格することができています。看護についても合格者数が増えています。就職活動についても多くの生徒が一社目で合格することができ、大いに実績を残すことができたのではないかと考えています。内外の多くの協力を得て３７期生の卒業を迎えることができました。非常に感謝しております。

（５）２年生の様子【２学年主任】

２年生は、１１月末に沖縄本島に修学旅行に行きました。中学校で修学旅行に行けていない、または行き先が近場だった学年だと思いますので、みんなで飛行機に乗って南の島に行って楽しんで、よい思い出になったと思います。３学期のスポーツ大会も生徒たちの実行委員形式で有志を募ってやってみて、生徒たちにいろんなことを任せていく形で進めて参りました。

同時に２年生の目標として、進路を決めて３年生に、３年生は実現する年にしたいので、２年生のうちに方向性を決めようということ、焦点を当ててやっています。ベネッセの基礎力診断テストを活用し、客観的な指標を出したり、ベネッセの進路達成プログラムを利用して、自分で考えている学校のパンフレットを取り寄せて比較検討したり、その学校の強みを調べてみたりとか、自分で自分の進路を納得して決めていくということを行っています。就職希望者は求人票を見たり、職種を絞り込むということを少しずつ行っています。２年生の４月に希望調査を行ったところ、これから考えるという回答が３７％もありました。この年明けの希望調査では、１４％となり、この年末年始にかけて自分の進んで行きたい道をしっかりと考えてくれたのだと思います。この数字を限りなくゼロに近づけて、３年生をスタートしたいと考えています。

（６）１年生の様子【１学年主任】

学校行事では、１１月中旬にスポーツ大会、ドッジボールを体育館で行いました。そのあとは、教育情報部の力をお借りしまして、タイピング大会を行いました。５分間で何文字打てるかで実施しましたが、５分間で７６０文字を打った生徒がトップでした。大体の平均は４００くらいですかね。生徒らは楽しんで参加しており、５分間無言で行っていました。

１月末に百人一首大会をさせていただきました。５１首読めました。読み手は教員がさせてもらい、１チーム１２人で行いました。すごく得意な生徒がいて、他の生徒が取れなかったという声もありましたが、みんなとても楽しんでいました。

進級に向けて、当初、授業中はふわふわした雰囲気もあったんですけど、進級も近づいてきて、テストに向けて一生懸命取り組む姿勢も見えてきました。スタートが２４４名で、現在の在籍は２３７名です。最近はいろいろな進路がありますが、一人でも多く進級卒業できたらよいと思っています。

（７）生徒の現状について【生徒指導部長】

生徒指導の現状ですが、私も含めて部員の先生方も若い方が多く、その分、生徒と時間をかけてコミュニケーションをとって指導してきました。経験のある先生方にその若い先生方のサポートもお願いして、１年間指導させてもらいました。遅刻に関しては、年々減少傾向にはありますが、家庭環境が影響していたり、特定の生徒が遅刻することが多いので、多方面から生徒をサポートしながら、学校に登校できる体制をとって、遅刻指導を行っていきたいと思っています。生徒も前向きに学校に登校していると思います。

問題事象に関しては、ここ数年、単車の指導が多くなっています。生徒たちの安全を守る意味でも、厳しく指導していきたいと思っています。単車と自転車の事故については、今年から西堺署と連携をしながら下校指導を行う形をとっています。正門で警察官の方に、マナーに関して指導していただいています。これからも連携を取りながら、生徒たちの地域での交通マナーモラルを改善できるように指導していきたいと思っています。

（８）３年生進路状況について【進路指導部長】

今年度は一般入試まで頑張って受験をして進路実現をしたという生徒が増えております。同級生や先生のような伴走してくれる人がいるということは大事なことだなと感じております。

３７期生の進路状況で、その他未定という生徒は１１名おります。そのうち結果を持っている者が５名、未定の者が６名という状況です。進路実現に向けて頑張っていこうというのが理想ですが、難しい生徒もあり、３年生４月の段階で迷っている、迷っているうちに目標が卒業になってしまう、高校卒業も大事な目標ですが、その生徒たちをどういうふうに指導していくかが課題だと感じています。希望者２７名は全員内定をいただけたという状況です。公務員を目指す生徒は５名おりました。そのうち２名は２年生の頃から公務員対策講座に参加していて、早くから取り組んでいた生徒たちです。そのうち１名は警視庁・千葉県警・自衛官で内定をいただきました。

専門学校に進学した生徒については９割近くの生徒が総合型選抜を利用しています。来年も引き続きこの傾向が続くだろうと考えております。４年制大学を希望した生徒に関しては、今年は指定校推薦を利用する生徒が少なかったです。その分、総合型選抜・公募・一般入試を利用した生徒が多かったです。

休憩

（９）来年に向けての改変事項【校長】

働き方改革の取組では、年間３６０時間以上の長時間労働に対して指導を行っているのですが、小中学校も一緒だと思いますが、オーバーする教員が３割ほどいて、部活動指導者が影響しています。校務の効率化に向けて、４月をめどの１０項目に関する取り組みの指示が来ています。本校ではだいたい取り組んでいます。

部活動について、中学校では部活動を外部に委託するという方針があるみたいですが、高校に関しては、学校で教員の力を借り、人間性・社会性も育てているので、中学校のようににはできないようです。少子化で活動機会の減少、教員の時間外勤務の長時間化、専門的指導ができない先生もいらっしゃるし、子どもたちの多様な学びの場を確保しようという一方で、教員の負担を軽減するという課題をなんとかしようということで、まずは原則合同部活動のペアリングを検討しています。ペアリングは近隣の学校同士が合同で実施します。外部人材も活用して教員の負担軽減をして、多様な学びの場を確保するという方向で進んでおります。

３．協議

（１）学校への提言について

会長：今日の報告について、委員の皆さんからご意見ありましたらいただきまして、学校への提言をまとめていきたいと思います。先ほど学校長からありました報告をもう一度ご覧いただけたらと思います。

委員：人材育成は大事なところだと思いますが、外部研修した教員の勉強会をどうしているのかお聞きしたいのと、うちの会社ではどうなのかをお話しできたらと思います。まず、うちの会社で言いますと、製造するといえど人が成長していかないとよい商品はないと思っているので、教育するタイミングをできるだけ増やそうと思っています。その大きく２つが朝礼と毎週月曜日に１７：００から３０分間、社員みんなが集まり、同じ動画を見て感想を言うという集合研修をずっと行っています。それが定着してよい感じだと思っています。朝礼の時にも決めている方針の読み合わせをして忘れないようにしようとか、うちの工場だったらシャーペンを持ち込んだらだめですよとか、当たり前レベルの方針の読み合わせをするので、朝礼の場ってとても大事な教育の場なんかなんか思ったりしています。堺上高校ではどのように運営されているのか気になりました。

校長：基本的には大阪府は教員の資質に関するものは、ベースは初任から１年目、２年目、１０年目に年間計画が入っていて、研修センターで人権的なことや教科のこと、教育相談のこと、法規的なことなどを研修しています。１回３時間くらいの研修で、１５回から２０回くらい。その間に授業づくりに特化した研修とか人権に特化した研修とかあります。それとは別に、学校現場では、報告連絡

相談が大事ですので、うちの学校では職員朝礼と職員会議を行っています。そこでは基本的には報告事項が多いですが、その中で行動規範等を聞き、内容の確認をしています。それとは別に、教科で集まる教科会議があります。そこで同じ教科の経験値の違う先生と指導の仕方とかをどうしたらいいのかとか話をする場があります。横串は学年で、生徒対応をどのようにしたらいいのかを共有して育てていきます。縦串は分掌で、生徒指導、進路指導などのやり方などをその集団ごとに3年間を通して学び育てていきます。その縦串と横串と自分の教科で、それぞれの集団が違う顔ぶれなので発見をしたりしてきます。それとは別に学期に1回実施しているのがSKミーティングで、2人の首席が困っていることなど丁寧に拾い上げて聞いています。

委員：それは何回実施しているのですか？

校長：年に3回です。それとはまた別に教育相談やスクールソーシャルワーカーや外部団体へのつなぎ方や、子どものSOSはどんなところからキャッチするのかといったような研修をしました。また、ICT関連の研修を、年明けに1日実施しました。

委員：私のところも製造業で残業があるので、効率を考慮して、朝礼を実施していますが、方針として残業は減らしたいので、そこに研修等をプラスしていくのは難しく、現場がモチベーション上がらないので、普段通りやっている流れの中に教育の要素を入れていくようにして、いつもの時間に終わらせるっていうのを目標にして、コンパクトな内容のものを継続して行くスタイルがよいと思っています。もうひとつ、今私にはメンターがいて、大阪でステンレスの鋼材を扱っていて、200億くらい売る方にメンターになってもらっています。その人によると、製造現場のリーダーになっていける人は、朝礼を回せる人じゃないとなっていけないと。朝礼ですらちゃんとできない人は大成しないと。そういう現場の運営っていうところに、朝礼というのは大事なと私は改めて思うので、意見させてもらいました。

校長：私も企業とかでよく聞きますが、朝礼で順番に自分の思うことを1分スピーチしたり、経営理念をそらで言えるように、巻紙にしてその経営理念を朝みんなで読むと聞きました。そんなこともよい方法かなと思います。本校の朝礼は2人の首席がやってくれています。

会長：確かに先生方も仕事が多いので、できるだけシンプルに短時間で要点をまとめてするというのがよいと思います。ありがとうございます。

委員：広報的なウェブの話ですけれど、自分が仮に校長だったら何を考えると、次に入学したい人たちの意志を上げていくのが大事なことで、そのツールとしてウェブかなと思っています。週1回更新を行うというのも戦術的にはあります。戦略的にやるなら、全国でウェブページの運営で成功している事例っていくつかあると思います。そこがどういう運営をしているのかを分析して真似するのもありではないかって思いました。どういうことを見出しにしているのかとか、そのやり方を真似したら、早くできていいと思うので、狙いたい効果に近づくのではないかと思います。

校長：ありがとうございます。今は、府で決められたひな形を使っているので、予算を設定できるなら、外部の方をお願いするのもありではないかと思います。

委員：上小学校さんもコロナ前はうちの工場に来ていただいていたいました。近いので、生徒の就職に関係するかもしれないですけど、うちの工場を見てもらって勉強になったり、食品の会社のイメージをつかんでもらったり、うちの工場を使ってもらう方法もよいと考えています。

校長：ありがとうございます。うれしいです。地域連携ができます。

委員：うちは、コロナ前までは朝日新聞の工場に行かせてもらっていましたが、ここ3年ほど行けてなくて。今日はいい話をいただいて。出前授業をしていただくことも可能ですか？

委員：はい、私ではなくても社員の勉強にもなりまし、地域の人に入ってもらえる会社づくりをしていきたいと思っています。

委員：せっかくご近所なので。

会長：実際に工場を見学したら、色々な意味で自分の就労意識や意欲が育っていくのではないかと思います。どうやってこんにやくができていくのかとか、見るだけでも高校生には影響があると思います。

委員：こんにやくを切り口に食品への興味とか、工場ってこういうものなのかとか、見るところが広がったらいいなと思います。

校長：ICTの取り組みはどうか。

部長：情報科としては、プログラミングが教科の内容に入ってきました。本校の生徒には少し難しいと思っていましたが、自分でちゃんとプログラムコードを書き、授業だけど遊んでいるみたいで面白かったと言ってもらいました。それはすごくうれしかったです。普通に絵を描くより上手く描けたとか、だんだん絵ができていく感じが面白かったとか、こんなこと自分にできると思ってなかったとか、将来こんな仕事をできるならやりたいとか言ってくれる生徒もいました。苦戦しながらも生徒たちはちゃんと取り組んでくれましたので、よかったと思っています。

会長：ありがとうございます。私は今、聞いててもなかなか分かりませんが、学生がやってよかった活動や体験を通じた新しい教育が今の学生の未来の教育につながっていくんだと思いました。私も今日のお話を聞いていて、3年生が進路を見据えて成長しているというところをものすごく感じるんです。3年生のよい見本があって、1、2年生が頑張ったら、次に繋がる歴史ができていくのではないかと思います。運営協議会の皆さんからの意見もいただいて、堺上がどんどん進化しているように感じました。

校長：ありがとうございます。

会長：今までやってきた教職員の輪みたいなものは学校の進化につながっていると思いました。私の正直な意見です。

校長：ありがとうございます。

4. 閉会の挨拶【校長】

校長：ありがとうございました。公立のよいところが発信できていないというのは今までもご意見いただいていたところです。やはり中学生はホームページを見ていると思うので、ここに本腰を入れて取り組んでいきたいと思います。本当に1年間ありがとうございました。また今後ともよろしく願います。